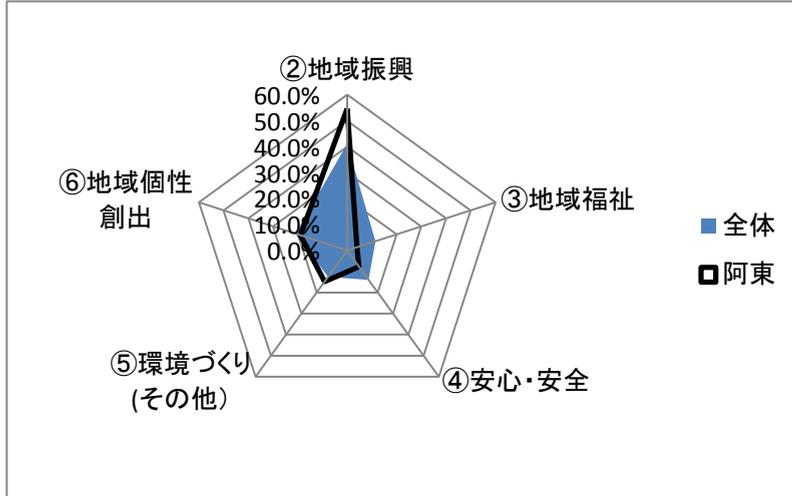


阿東地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

■地域の情報

地域人口	5,457人	自治会数	123
世帯数	2,424世帯	自治会加入率	99.13%

※数値は、平成29年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	13,013,000 円
交付金決算額	11,812,438 円
その他収入	183 円
交付金決算額／配分枠	90.8%

各分野の決算

①協議会運営	7,483,633 円
②地域振興	2,365,010 円
③地域福祉	171,703 円
④安心・安全	332,335 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	640,097 円
⑥地域個性創出	819,843 円
決算総額	11,812,621 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

【キャッチフレーズ】…考えてみよういね、やってみよういね、美緑あるあとうまちづくり
 【メインテーマ】…安心安全で住み続けられる阿東づくり

■総括

今年度は、地域づくり計画5年目となり、事業内容や組織体制の見直しに取り組む中で、これからの阿東地域を見据えた事業を実施することができ、重点的に取り組んだ事業については、成果を感じることができた。しかしながら、一方で、地域づくり協議会が地域住民に十分認知されているとは言い難く、今後さらに、人口減少と少子高齢化による地域課題の増加が予測される中、これからの課題解決に地域づくり協議会としてどのように役割を果たしていくか継続して検討していきたいと考えている。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費、事務費
② 地域振興	<p>【各地区協議会集約分】 生雲ふれあいフェスタ【生雲】、サマーナイトフェスタ【生雲】、新春交流会【生雲】、トイトイカップ開催【地福】、夢あしたのふるさと夢の絵【徳佐】、坂手自治会体育祭【徳佐】、嘉年サマーフェスティバル【嘉年】、グラウンドゴルフ大会【嘉年】、嘉年お盆お帰りの祭【嘉年】、ほたる鑑賞会【嘉年】、ふるさとカレンダー作成【地福】、SLナイトフェスティバル号企画【地福】、地域だより発行【徳佐】、広報誌発行【嘉年】、しのぶ元気塾【篠生】、氏原大作を語る会【篠生】、しのぶ看板作成【篠生】、篠生史跡めぐり【篠生】、夢プランづくりへの取り組み【地福】、サンタクロース招聘事業【地福】、ヤマシャクヤク案内看板【徳佐】</p> <p>【阿東全体分】 地域広報誌発行、パソコン等購入、地域づくり人材育成セミナー、先進地視察、嘉年十種ヶ峰案内看板、大谷家墓地木伐採、明治維新隊中様墓所探訪</p>

<p>③ 地域福祉</p>	<p>【各地区協議会集約分】 健康づくり教室【地福】、福祉的まちづくりを考える会【徳佐】、夏休み企画トイザニア開催【地福】、三世代交流会【徳佐】 【阿東全体分】 100歳体操</p>
<p>④ 安心・安全</p>	<p>【各地区協議会集約分】 自主防災【篠生】、自主防災【生雲】、防災啓発活動【嘉年】、婦人会見守り隊【徳佐】 【阿東全体分】 防災減災講演会</p>
<p>⑤ 環境づくり</p>	<p>【各地区協議会集約分】 小中学校奉仕活動支援【徳佐】、明るい社会づくり啓発事業【地福】、地域清掃活動【生雲】、長門峡清掃活動【篠生】、渡川城植栽【篠生】、長門峡芝桜植栽【篠生】、地域コミュニティの再生【地福】、徳佐地区クリーン作戦【徳佐】、鍋倉駅舎改修工事【徳佐】、和田山公園整備【嘉年】 【阿東全体分】 JR沿線環境整備事業、国道315号花壇整備</p>
<p>⑥ 地域個性創出</p>	<p>【各地区協議会集約分】 肝だめし大会【生雲】、子供みこし【生雲】、生雲どんど【生雲】、花車巡行【生雲】、はやしだ支援【徳佐】、どんど焼き【徳佐】、長門峡もみじ祭り【篠生】、ウエディング企画【地福】、秋桜コンサート【徳佐】、イルミネーション設置【嘉年】、読み聞かせ【生雲】、読み聞かせ親子塾【徳佐】 【阿東全体分】 あとう夢語太鼓と土居神楽コラボ、長門峡夏祭り</p>

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	土居神楽&あとう夢語太鼓コラボライブ	決算額	300,753円
	目的	山口市無形民俗文化財の伝承及び地域文化の振興をしていくため、地域の多くの方に披露するとともに、担い手育成を図ることを目的とする。		
	実施内容	大正時代から続く土居神楽と平成11年に発足したあとう夢語太鼓をコラボライブを開催した。交互に2回のステージを披露した。		
	実施時期	平成28年11月12日		
	参加人数	130人		
	成果	土居神楽とあとう夢語太鼓が連携・協力することで、より多くの方に見ていただき、既存イベントとあいまって、人の流れが創出でき、地域内に好循環を生むことができた。 会場となった旧嘉年小学校体育館は、平成28年3月に閉校となったが、子どもたちの太鼓の演奏は感慨深いものがあった。		
評価	地域文化の振興、伝統芸能の保存・継承は、地域に楽しさと元気の創出につながるものであり、その重要性をあらためて認識した。 地域づくり協議会のコーディネートにより、実行委員会が組織され、実行委員会でイベントの運営をされたことが非常に良かった。このライブを通じて、神楽グループと太鼓グループの交流が深められた。			
今後に向けて	このライブをきっかけに、地域内のグループが連携し、地域の文化・芸能団体が主体となったイベントができればいいと考える。 今後も、地域の文化、伝統芸能の発表の場づくりにつとめるとともに、地域行事、イベントにおいても地域団体、活動グループが連携、協力できるきっかけづくりと支援が必要であると考えている。			
②	事業名	防災減災講演会	決算額	136,524円
	目的	平成25年7月28日の豪雨災害を忘れず、得られた教訓を活かし、住民一人ひとりが安全に地域で暮らし続けるために、自主防災の取り組みの一層の強化と防災・減災の意識を高め、育むことを目的に防災減災講演会を開催する。		
	実施内容	陸前高田市から講師を招き、防災・減災講演会を開催した。		
	実施時期	平成28年11月19日		
	参加人数	約150人		
	成果	阿東文化祭と同日開催することでより多くの参加者を得ることができ、阿東地域を襲った災害を思い起こすことにつながった。 講演会では、早めの避難の必要性和過去の教訓の重要性が認識でき、参加者の意識の向上が図れた。		
評価	災害ボランティア活動グループと福祉活動グループの方からの企画を地域づくり協議会のコーディネートにより、実行委員会で実施されている。活動団体の連携により大きな成果を得ることができた。			

今後に向けて	<p>災害を忘れず、得られた教訓を活かし、災害に備えるためには、地域で活躍されている方をつなぎ、地域団体の連携・協力により、地域住民が主体となった取り組みを進めていかなければならない。そのためには、行政が地域の伴走者となり、住民主体の取り組みを支援していかなければならないと考える。</p>		
事業名	先進地視察研修	決算額	188,783円
目的	<p>阿東地域の将来ビジョンの検討や組織体制・運営等の抜本的な見直しを進めている。今回の研修テーマは、「新たなコミュニティ、これからの中山間地域について」とし、地域づくりの参考となる取組について地域の生の声を聞くとともに、小さな拠点形成に向けた考え方の情報収集を行い、これからの阿東地域の未来に向けて地域づくりの考え方を学ぶため、研修視察を実施する。</p>		
実施内容	<p>島根県中山間地域研究センター、人間交流センター、道の駅たたらば壱番地の研修視察を実施した。</p>		
実施時期	平成29年3月14日		
参加人数	20人		
成果	<p>島根県における地域づくりの取組例と小さな拠点形成について、現地で研修できたことは、これからの阿東地域の将来ビジョンを検討する上で大きなヒントとなった。他地域の取組を研修することで、阿東地域の魅力を再認識するとともに、自分たちでできることがあるという機運の向上につながった。</p>		
評価	<p>地域課題解決の取り組みを進める上で、地域内外の取り組みを研修することは有効であり、その取り組みに至った考え方等を学ぶことが重要であると考え。</p>		
今後に向けて	<p>地域の将来ビジョンを描くためには先進地の取り組みを学ぶことが必要であり、人材育成にもつながることから、積極的に研修を進めていく必要がある。関係機関、関係団体と連携して、先進事例の情報収集、情報提供を進め、多くの方に参加していただきたいと考える。</p>		

③